

適用 Q-02

日本建築学会規基準・指針

納まり例

1. デッキ合成スラブは、RC 造や SRC 造の躯体構造に適用できますか。
2. 適用する際に準拠する規基準や指針はありますか。
3. 日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」(以下、RC 規準)や「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」(以下、JASS5)などの規基準・指針と整合していますか。
4. 設計施工上の留意点は何ですか。

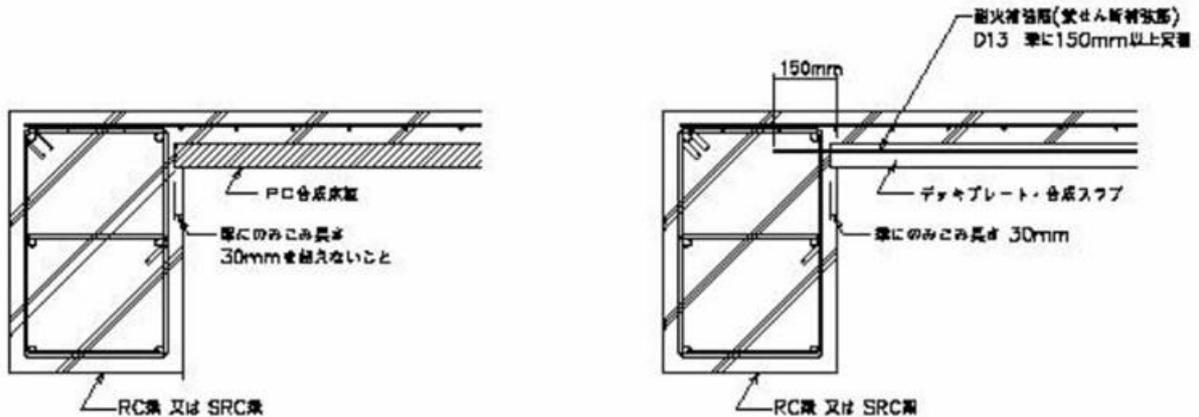
適用 A-02

1. デッキ合成スラブは、躯体構造が RC 造または SRC 造(以下、RC 造等)、木造にも適用できます。
 ※国土交通省告示第 326 号(平成 14 年 4 月公布・施行)
 「構造耐力上主要な部分である床版又は屋根版にデッキプレート版を用いる場合における
 当該床版又は屋根版の構造方法に関する安全上必要な技術的規準を定める件」
 に規定されています。
2. デッキ合成スラブを RC 造等に適用する際は、以下を参照して設計施工を行ってください。
 - ・前述の告示第 326 号
 - ・告示 326 号の技術解説書
 国土交通省国土技術政策総合研究所他編集「デッキプレート版技術基準解説及び設計・計算例」
 (以下、デッキ技術基準書 * 1)
 - ・JIS G 3352 デッキプレート
 - ・(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準-2018」
 (以下、デッキ規準 * 2)
 - * 1.デッキ技術基準書は、建築確認の拠りどころとなる技術的見解が示されています
 - * 2.デッキ規準は、実務者向けの設計・施工マニュアルとして編集されています
3. 前述の準拠規基準は、日本建築学会の規基準・指針とは異なる体系で構成されています。
 デッキ規準は、デッキプレートを使用した床スラブの設計、施工を体系化しており、基本的に RC 規準等とは異なる体系で構成されています。ただし、RC 規準や JASS5 の内容を多数引用しています。
4. 設計施工上のポイントは下記の通りです。
 - ・RC 造等に適用する際の参考資料
 留意点や経済性、実施例などが纏められた、合成スラブ工業会編「デッキプレート合成スラブ構造床を RC 造建物に適用する場合」があります。参考にしてください。
 - ・防耐火構造
 告示 326 号には記載がないため、デッキ規準を参考にしてください。
 - ・荷重伝達
 デッキ合成スラブは一方方向性スラブのため、床荷重の梁への伝達経路が一方方向です。
 これは、等厚 RC 造床スラブの荷重形態である、いわゆる亀の甲形式にはなりません。
 よって、梁が負担する床荷重の設定に際して、注意する必要があります。

・デッキ合成スラブと RC 造等梁との接合

- 1) デッキプレートの梁へののみ込み代は 30mm です。これは、デッキ合成スラブの要求事項のため、梁躯体強度への影響については構造設計者の判断となります。
- 2) 端部補強筋 D13 を各溝に配し、150mm 以上の定着をとります。なお、耐火構造で耐火補強筋 D13 を配する場合、耐火補強筋が端部補強筋を兼ねることが出来ます。

《標準納まり例と施工例(写真)》



標準納まり例



写真 1.デッキ合成スラブの配筋状況



写真 2.柱廻りの納まり



写真 3.梁型枠と合成スラブ用デッキプレートとの取り合い